

お買い上げありがとうございます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

### 製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時 間 精 度 : 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°Cで使用した場合)
- 使 用 温 度 範 囲 : 0 ~ +40°C
- 使 用 推 奨 電 池 : 単3形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 1個
- 電 池 寿 命 : 約 12 カ月 (単3形マンガン乾電池 1個使用の場合)

### お手入れについて

- プラスチック枠、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラバキして下さい。木枠、金属枠の場合は柔らかい布でカラバキして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- ※時計の針には触れないで下さい。正確な時刻を示すことが出来なくなります。
- ※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますので注意下さい。

### お問い合わせ先

#### ノア精密株式会社 サービスセンター

T340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

受付時間:月曜日~金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00~12:00, 13:00~17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

あらかじめご了承下さい。

※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。

<https://www.mag-clock.co.jp>



●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

### 本体のご注意

#### 警告

##### 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。



- 分解や改造をしない  
けがや故障、火災や感電の原因になる。
- 故障や破損した状態で使わない  
けがや火災、感電などの原因になる。
- ぬれた手でさわらない  
さびや故障、感電の原因になる。
- 浴室やサウナ、温泉など、高温・高湿になるところでは使わない  
さびや故障、感電の原因になる。
- 本体内部に水分や異物を入れない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- 梱包用袋は絶対に被らない

#### 注意

##### 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



##### 下記のような場所では使わない

精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。

- ◆直射日光が当たる所
- ◆火気のそば
- ◆暖房機器の風が当たる所
- ◆温度が+40°C以上の所
- ◆温度が-10°C以下の所
- ◆ほこりが多く発生する所
- ◆強い磁気を発生させる機器のそば
- ◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
- ◆プール、温泉場などガスの発生する所
- ◆調理場など多くの油を使用する所
- ◆色移りや付着、変質をすることがあるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間、直接ふれさせておかない。
- 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になる。

### 電池のご注意

#### 危険

##### 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
飲み込んだ場合、あるいは飲み込んだ恐れのある場合は、直ちに医師に連絡して指示を受けて下さい。

#### 警告

##### 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。  
◆電池に傷をつけない。  
◆電池をショートさせない。  
◆電池を充電しない。  
◆電池を加熱しない。  
◆電池を火の中に入れない。  
◆電池に直接ハンダ付けをしない。  
◆+と-を逆に入れない。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。  
衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。  
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。  
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談下さい。

#### 注意

##### 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



- 電池の+ - を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になる。

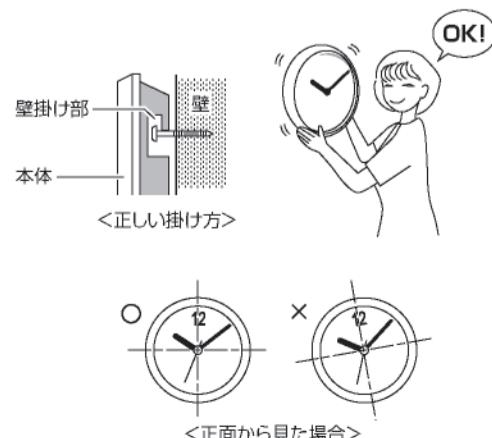
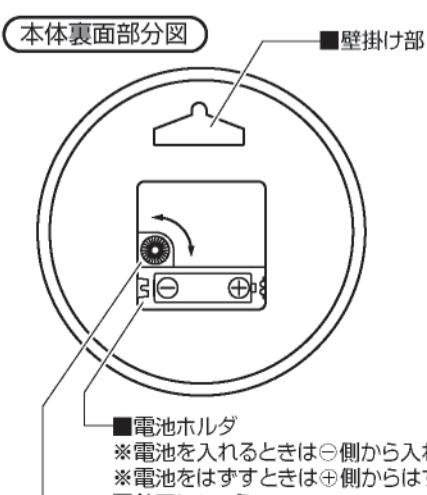
### ご使用方法

#### 時計の使い方

①単3形乾電池1個を電池ホルダの+ - の表示に合わせて入れて下さい。時計が動き出します。

※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている+ - の向きをご確認下さい。

②針回しツマミを回し、時刻を合わせて下さい。



#### 時計の掛け方について

#### 注意

##### 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛け下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛け下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所で取り付けると、掛け具で電気配線等を傷つけ火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。

#### 故障かな?と思ったときには・・

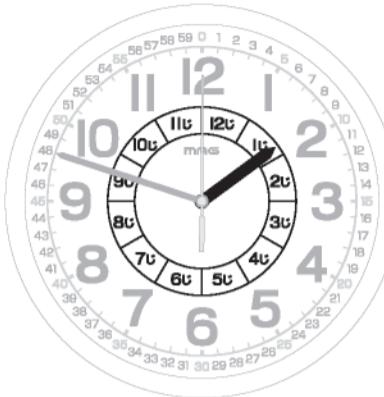
※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池端子の接触不良 ■電池容量が無い	■新しい電池を+ - の向きを確かめて入れて下さい。 ■電池端子の表面を拭いて電池を入れ直して下さい。
時計が遅れるまたは止まる	■電池容量が少ない	■新しい電池と交換して下さい。

アナログ時計には長針と短針があり、長い針が「分」、短い針が「時」を表すという事を教えましょう。

## Step1. まずは短針から教える

短針（紺色の針）が指している数字を読むと「時」が読めるようになります。「分」の概念は後回しにして、まずは「時」を読めるようになりましょう。右図の中心の円に注目して、短い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。「時計の短い針が1のところにいたら1時だよ」と12時までそれぞれ教えてみましょう。1時から12時までを読めるようになったら次のステップです。

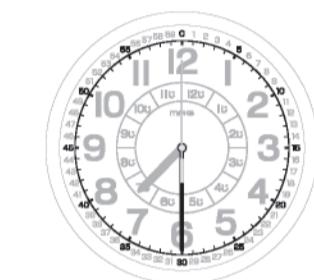


### 声かけのポイント

- 「3時だからおやつにしよう!」「6時からテレビが始まるよ!」など、生活の中でお子様の好きな出来事から時計を見る習慣をつけてみましょう。

## Step2. つぎは長針を教える

長針（赤色の針）が指している数字を読むと「分」が読めるようになります。外側にある小さい数字に注目して、長い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。最初は赤の数字の0と30を指す位置で「〇時ちょうど」と「〇時30分」を教えましょう。次に5、10、15…と5分きざみに赤の数字を読めるようにします。慣れてくると1から12の大きな数字に惑わされることなく、目盛りを数えて「分」を読むことが分かるようになります。



いまは何分かな？

6ぶん！

長い針は周りの小さい数字を読むんだよ。

あっ！そっか！  
いち、に、…30ぶんだ！

### 声かけのポイント

- 「10時半になつたらおでかけよ!」「7時30分になつたらお風呂にはいろう!」など、最初は「〇時30分」のときに声をかけて時計を見せてあげてください。このとき「〇時半」という言い方も同時に教えてしまいましょう。どちらも同じ意味だと知る事で、30は半分であるという意識がつき、60進法の理解への手助けになります。短針が数字と数字の間にいる事も気づかせてあげましょう。

- お子様と一緒にひとつずつ丁寧に目盛りを数えてあげましょう。

## Step3. 短針・長針の順番で読む

①短針②長針の順に読むという事を教えてみましょう。  
短針=「時」長針=「分」という事を徹底して覚えててしまいま  
しょう。「何時何分？」と問い合わせ「〇時〇分」と繰り返し答  
えるうちに慣れて読めるようになります。

いまは何時何分？

9じ30ぶん！

こんどはちょっと難しいよ  
いまは何時何分？

9じ49ぶん！

すごいよ！よくわかったね。

### 声かけのポイント

- ふとしたときに何時何分か質問してみましょう。今の時刻を答えられるようになったら「じゃあ、おやつまで後何分?」などの質問もしてみましょう。はじめは目盛りをひとつずつ数えて答えられるだけでじゅうぶんです。この感覚を身につけておくと「時間の計算」の学習への理解も早くなります。



0から順番に60まで数えてみよう！  
長い針が1周すると4時になるよ！

### 声かけのポイント

- お子様は3つの針の回る速度が違う事に混乱しやすいです。「秒針が1周したら長い針はひとつ進むよ。一緒に60数えてみようね。」と0の位置に秒針がきたときに数えてみましょう。次に長針についてても60進んだら短針がひとつ進むことを教えてあげましょう。3つの針の関係を理解するには、一度電池をはずし、針回しツマミを手動で早回しして、長針が1周するときに短針が動く様子を見せてあげる方法もあります。

※電池の出し入れや、針を動かすことは、思わぬ事故を防ぐために、必ず大人の方がおこなって下さい。

## 大切なこと

お子様が間違えてしまって叱ったりせず、ポジティブな言い方でやさしく教えましょう。

読めたときには、たくさんほめて、お子様と楽しみながらすすめて下さい。

「時計が読めると楽しい」とお子様が感じられることが一番です。

ぜひ時計を身近なものにしてあげて下さい。知育時計よ～めると一緒に楽しく学習しましょう！